



紫式部はデジタル源氏の
夢を見るか？
－「デジタル源氏物語」構築の
実践をとおして－

東京大学附属図書館デジタル
アーカイブ活用に関する勉強会
(通称：裏源氏勉強会)

東京大学附属図書館
情報サービス課資料整備チーム

中村 美里 [NAKAMURA Misa]



Special Thanks

「デジタル源氏物語」とは？

Home

デジタル源氏物語

画像とテキストを一緒にみる

頁数で探す

校異源氏物語

新編日本古典文学全集

AI画像検索版

挿絵画像の比較

絵入源氏物語

源氏百人一首

IIF対応源氏物語リスト

東大本・脱文錯簡リスト

デジタル源氏物語について

説明動画

お知らせ

お問い合わせ

デジタル源氏物語
Ver.YUMENOUKIHASHI
源氏物語本文研究プラットフォームを目指して

画像とテキストを一緒にみる

2024-06-13: デジタル源氏物語の取り組みが第59回国立大学図書館協会賞を受賞しました。

「デジタル源氏物語」へようこそ

東京大学総合図書館所蔵『源氏物語』の公開（2019年6月）を契機に、有志により「『源氏物語』研究にとって有意義なデジタル機能は何か」という検討が始まりました。（通称「裏源氏勉強会」）その成果の一環として、ここに「デジタル源氏物語-源氏物語本文研究プラットフォームを目指して-」を公開しました。当サイトでは『源氏物語』に関する様々な関連データを収集・作成し、それらを結びつけることで、『源氏物語』研究はもちろん、古典籍を利用した教育・研究活動の一助となる環境の提案を目指しています。また研究目的以外でも、『源氏物語』を広く楽しんでもらえるような機能の提供も視野に入れサイトの構築を進めています。

お知らせ

- 2024-06-13 デジタル源氏物語の取り組みが第59回国立大学図書館協会賞を受賞しました。
- 2023-12-27 X（旧Twitter）アカウントの運用を開始しました。
- 2023-01-20 デジタル源氏物語「AI画像検索版」に宮内庁書陵部所蔵本（二本）を追加しました。
- 2022-07-27 デジタル源氏物語「AI画像検索版」を改良しました。

<https://genji.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/>

デジタル源氏物語



『大学図書館研究』

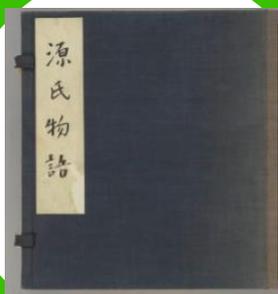
126巻（2024年7月6日公開）

<https://doi.org/10.20722/jcul.2165>

中村美里，木越みち，小川夏代子

「研究プラットフォーム構築のためのデジタルデータ活用 —教職協働による「デジタル源氏物語」公開の試み—」

「デジタル源氏物語」 誕生秘話



田村隆先生の助言により、東大本『源氏物語』を貴重図書に指定



デジタル公開

解題執筆は田村先生

Mottainai!



情報の独り占めはもったいない...



デジタルアーカイブに必要なものは？をみんなで考えたい

→裏源氏勉強会 結成

閑話休題



東京大学基金 〇

HOME UTokyo FOCUS

Features Articles Events Press releases Jobs

ARTICLES

フリーワードを入力

総合図書館貴重図書のゲーテ自署付書簡を公開 ゲーテの自筆署名が入った書簡の画像・翻刻テキストを公開しました

附属図書館

掲載日：2023年3月16日

附属図書館ではこの度、東京大学デジタルアーカイブズ構築事業により、総合図書館所蔵のヨーハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ(Johann Wolfgang von Goethe, 1770-1832)の自筆署名が入った書簡のデジタル化を行い、その画像と翻刻テキストを公開しました。

この書簡は、ゲーテが1822年12月29日付で、ヴェツラー在住の法律家兼鉱物学者のクラマー (Ludwig Wilhelm Cramer, 1755-1832) に宛てたオリジナル書簡の複製で、末尾の結語と自署以外は、ゲーテに仕えたヨーン (Johann August Friedrich John 1794-1854) の筆跡とされています。

2003年に、この書簡を所有していた和田昭治氏の意向により当館に寄贈され、以来、貴重図書として収蔵してきました。一方ドイツでは長らく所在不明とされ、

閑話休題

ゲーテ自署付書簡テキストデータ (TEI準拠) ゲーテ自署付書簡 (公開)

誌情報

東京大学総合図書館所蔵のゲーテ自署付書簡

画像

タイトル

日本語 東京大学総合図書館所蔵のゲーテ自署付書簡 [Letter] Weimar, 29. Dcbr. 1822 [to L. W. Cramer] (WA IV-36, S. 249対応)

ドイツ語 Der Brief von Goethe an Ludwig Wilhelm Cramer vom 29. Dezember 1822 im Besitz der Universitätsbibliothek Tokio

著者

ドイツ語 Johann Wolfgang von Goethe VIAF

日本語 ヨーハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ

共著及び清書

ドイツ語 Johann August Friedrich John

日本語 ヨーン

文献記号について

WA

日本語 ヴァイマル版ゲーテ全集 (略称)

Ew: Wohlgeb. .

einen etwas verspäteten Weih=
nachten zu übersenden und den längst gehegten, neuerlich auch wieder ausgesprochenen Wunsch nach einer Beryllstufe einigermaßen befriedigen zu können, sende gegenwärtiges in Hoffnung daß auch die Bohemika noch zu erlangen seyn werden. Mehr sey ni
Wünsche zum neuen Jahr vaterländische Luft wieder es unvermuthet.

Und somit allem Guten en
Weimar
d. 29. Dcbr. 1822.
ergebenst

JW v Goethe

文献 表記
UTL Bohemika
WA Bohemica

東京大学総合図書館所蔵 ゲーテ自署付書簡 [Letter] Weimar, 29. Dcbr. 1822 [to L. W. Cramer] (WA IV-36, S. 249対応) Der Brief von Goethe an Ludwig Wilhelm Cramer vom 29. Dezember 1822 im Besitz der Universitätsbibliothek Tokio

<https://da.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/portal/collection/goethe>

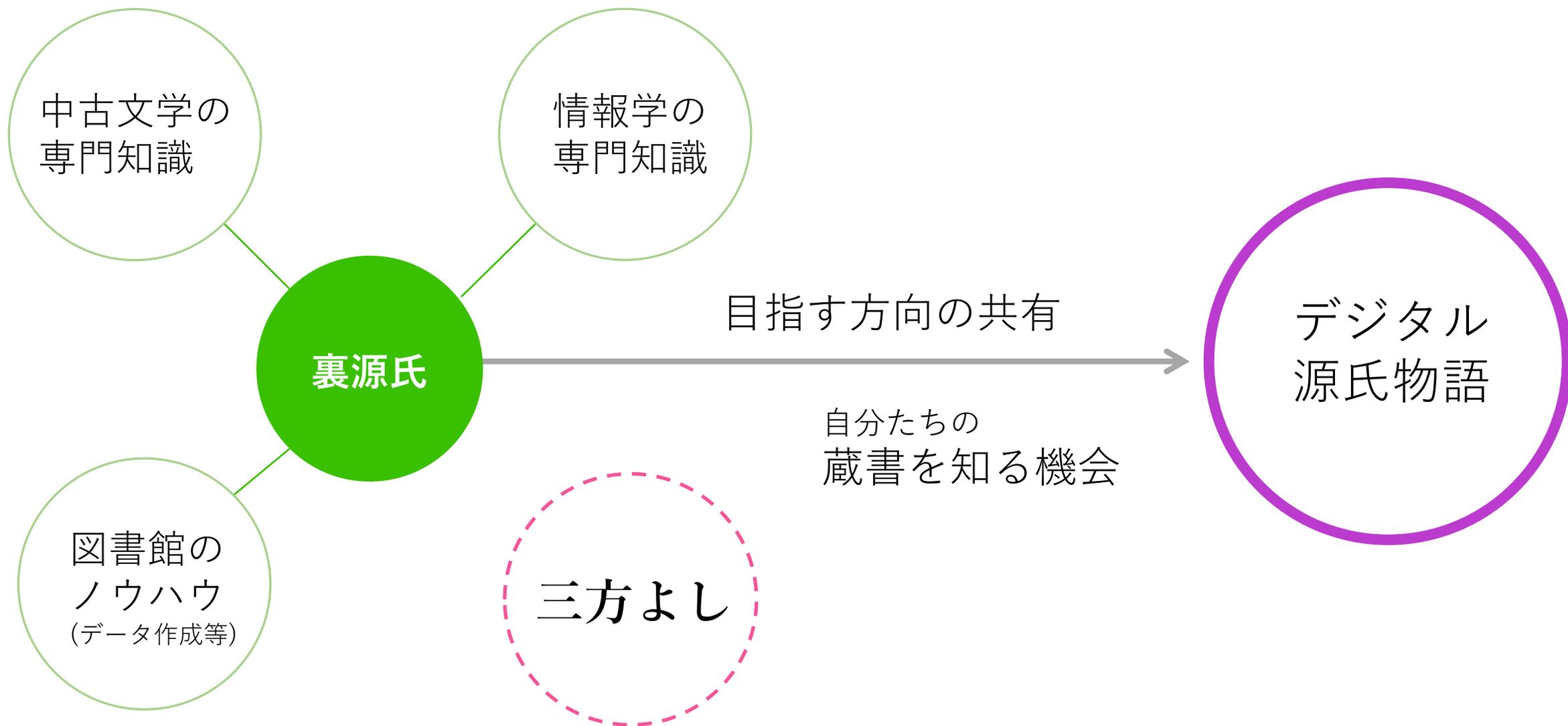
石原あえか

「日本に現存するゲーテ書簡 調査報告と再発見」

東京大学ヨーロッパ・ドイツ研究センター発行
『ヨーロッパ研究』第22号 (2023年1月)

<https://doi.org/10.15083/0002006008>

それぞれの立場からの「デジタル源氏物語」



デジタル・ヒューマニティーズ Digital Humanities (DH) ???

東京大学人文社会系研究科開講授業 デジタル・ヒューマニティーズ入門

2024年

- 4月10日：イントロダクション（大向）
- 4月17日：高岸輝先生（人文社会系研究科）「デジタル・ヒューマニティーズと文化財」
- 4月24日：小林正人先生（人文社会系研究科）「情報技術を人文学にどう活かすか—言語学の場合—」
- 5月 1日：山田太造先生（史料編纂所）「史資料データの収集・管理とその利活用」
- 5月 8日：瀧川裕貴先生（人文社会系研究科）「社会科学における大規模テキスト分析の事例紹介」
- 5月22日：芳賀京子先生（人文社会系研究科）「VR技術と美術鑑賞・美術研究」
- 6月 5日：影浦峯先生（教育学研究科）「Digital humanities and humanities in the digital era: What we can learn from people's reaction to Neural MTs and LLMs」
- 6月12日：渡邊英徳先生（情報学環）「多元的デジタルアーカイブズ」
- 6月19日：加納靖之先生（地震研究所）「歴史地震研究とみんなで翻刻」
- 6月26日：熊木俊朗先生（人文社会系研究科）「考古学におけるデジタル技術の活用」
- 7月3日：田村隆先生（総合文化研究科）・中村覚先生（史料編纂所）・中村美里様（附属図書館）**
「デジタル源氏物語」
- 7月10日：鳥海不二夫先生（工学系研究科）「情報の健康（仮題）」

デジタル・ヒューマニティーズ Digital Humanities (DH) ???

デジタル・ヒューマニティーズの
実践が目的？

どうも
デジタル・ヒューマニティーズ
らしい. . .



言われて初めて知る

東大だから？
職員数が
多いから？

Noooo!!

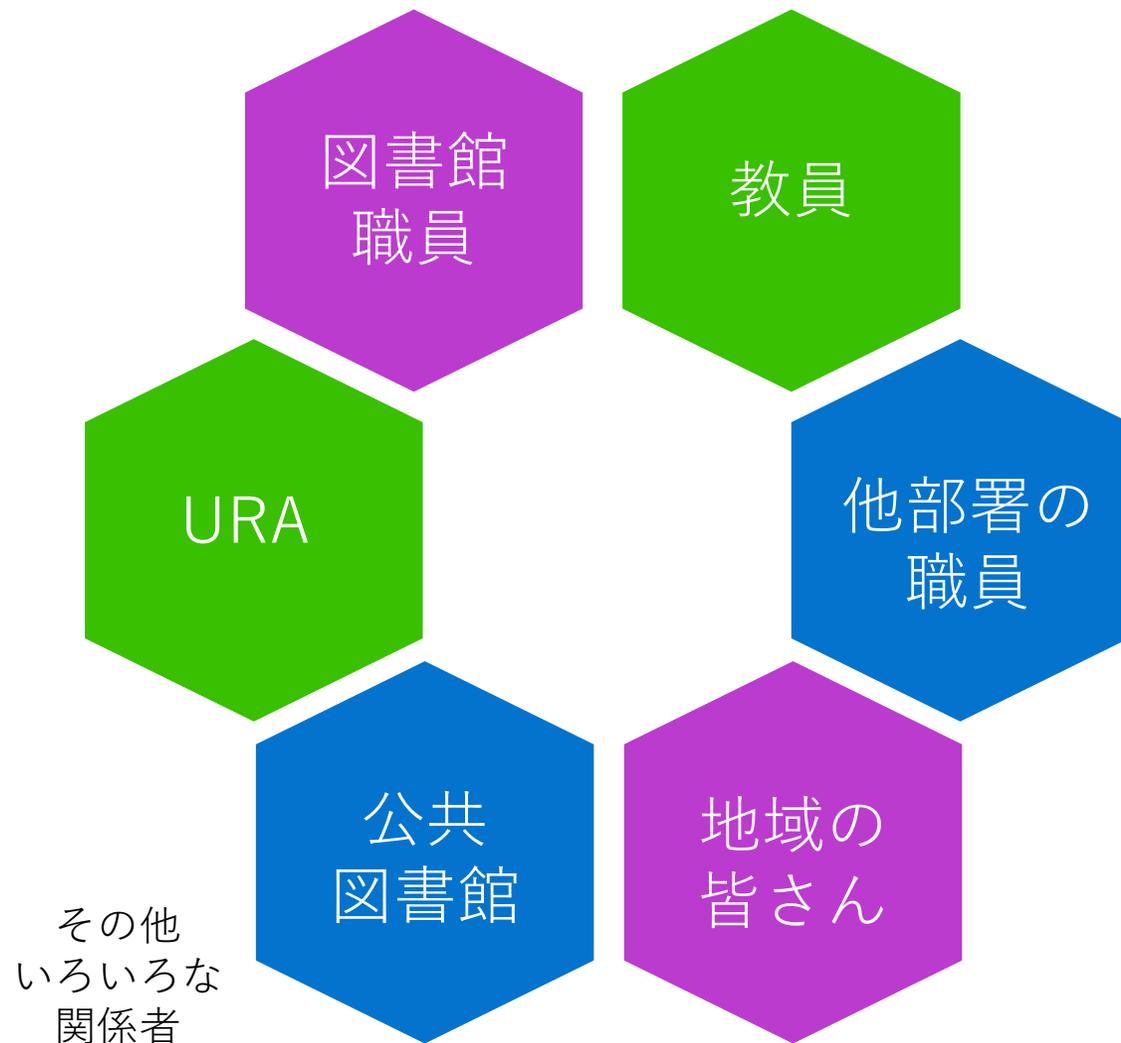
適度なユルさ

得意と
不得意を
活かす

自分たちの
ペースで

活動継続の最適解は各チームにある
(多分)

裏源氏勉強会 長続きの秘訣？



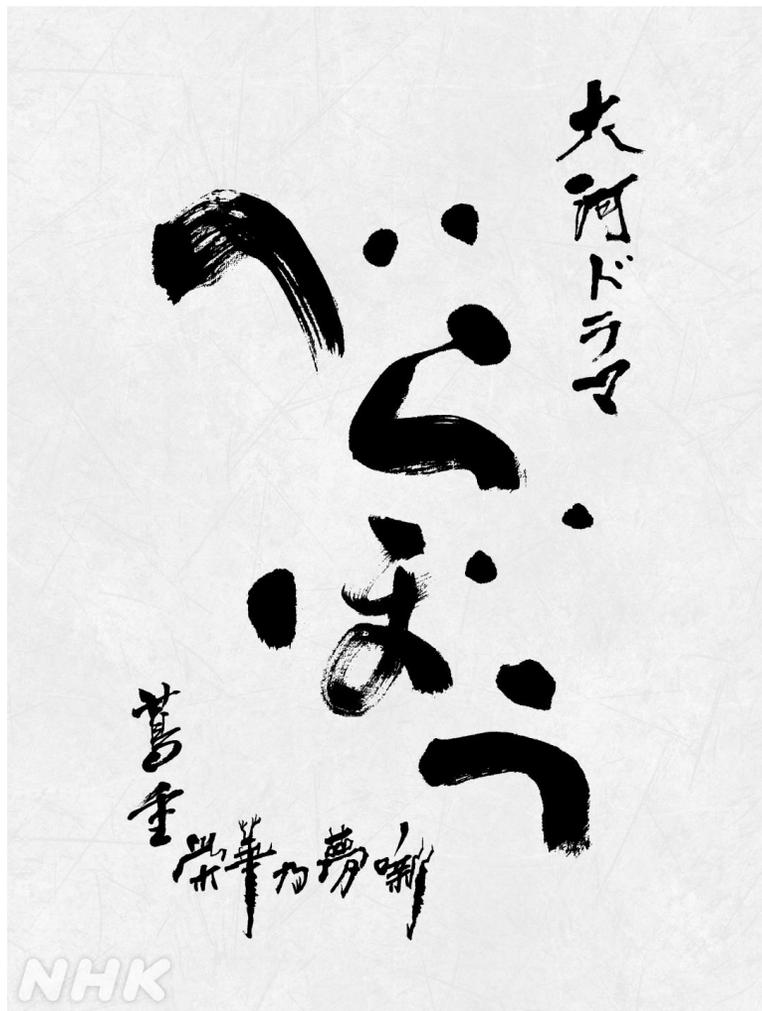
コミュニケーション力



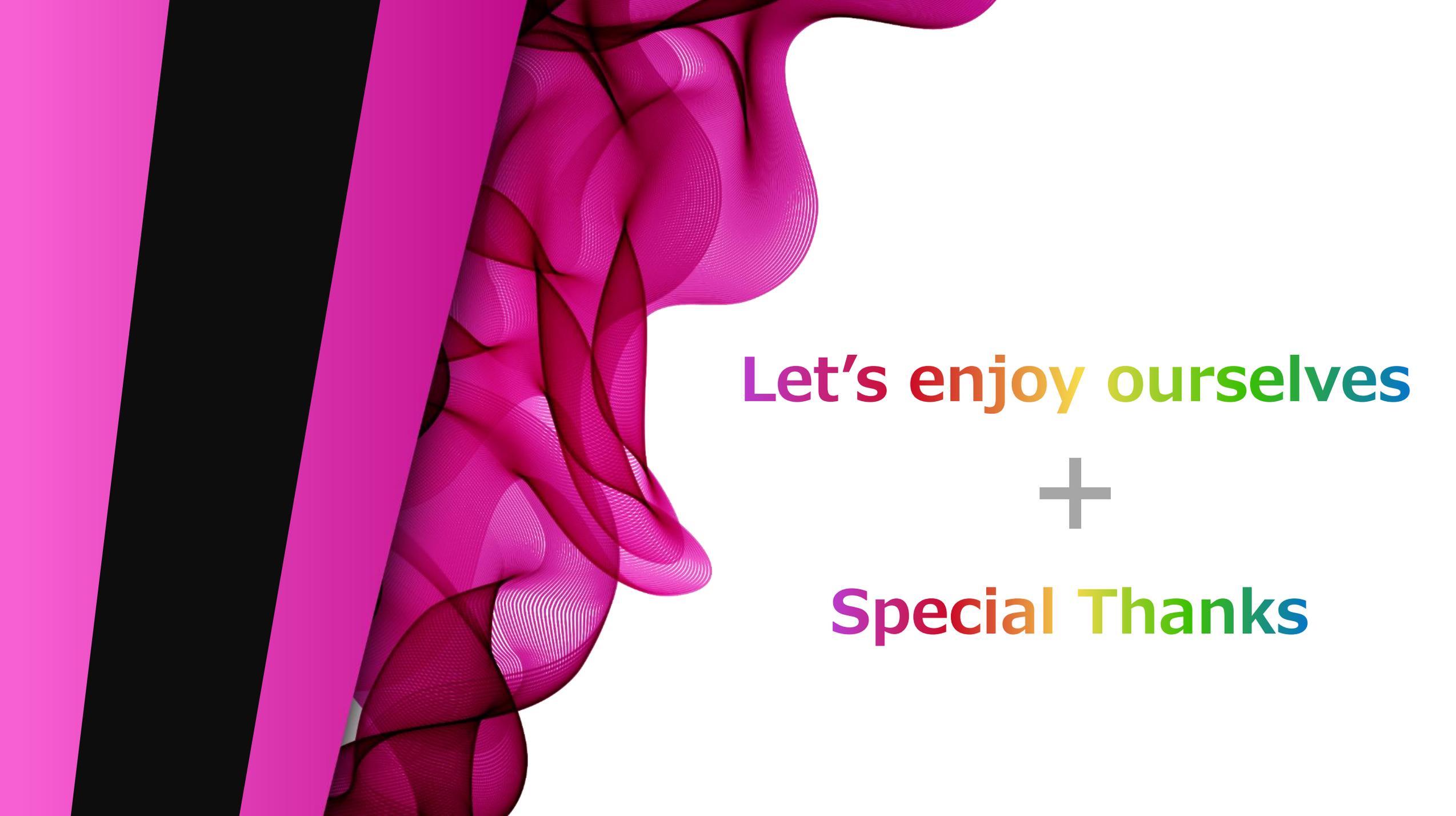
オープンマインド



2025年といえば！



国立国会図書館所蔵『画本東都遊 3巻』
NDLデジタルコレクションより [info:ndljp/pid/2533327](http://info.ndljp/pid/2533327)



Let's enjoy ourselves

+

Special Thanks